

第1回 事業推進委員会・議事録

開催日 : 平成19年4月11日 (水) 午後5時から午後7時  
場所 : 京都コンピュータ学院 京都駅前校 西館4階 会議室  
メンバ : 委員長 京都電子計算(株) 駒井 一正  
委員 アド・プロヴィジョン(株) 河合 博康  
委員 (株)京信システムサービス 竹内 清量(欠席)  
委員 (株)近畿リサーチセンター 小島 耕一郎  
委員 けいしんシステムリサーチ(株) 小野 隆夫(欠席)  
委員 (株)ケーケーシー情報システム 宇野 悟史  
委員 島津エス・ディー(株) 山本 孝  
委員 総合システムサービス(株) 古川 峰生  
委員 (株)たけびし 中村 徹  
委員 ワールドビジネスセンター(株) 中島 正司(欠席)  
委員 中信コンピューターアンドコミュニケーション(株)  
三上 雅弘  
委員 システムプロデュース(株) 中川 茂之  
事務局長 京都コンピュータ学院 和田 壽郎

主たる議題 (議事進行は駒井委員長が行う)

- 1 新年度初顔合わせの件
- 2 5月の理事会・総会開催準備の件
- 3 前年度事業報告と収支決算について
- 4 新年度事業計画と予算案通過に伴う各委員会活動の件
- 5 国際ケータイフォーラム参加報告の件
- 6 事務局報告
  - A N I A ちば大会参加者募集の件
  - 長谷川会長案(京情協の沿革整理作業・文章と写真の件)
  - シニアクラブの件
  - その他

1 新年度初顔合わせの件

新年度より技術委員長および地域情報化委員長の交代に伴い、中信コンピューターアンドコミュニケーション(株)三上雅弘氏並びにシステムプロデュース(株)中川 茂之氏が当委員会委員に参画されることとなった。新年度第1回委員会につき、各委員の抱負を兼ねた挨拶を行った。

2 5月の理事会・総会準備の件

平成19年度第1回理事会は5月18日(金)・通常総会は5月28日(月)に開催することおよび必要な準備を進めることを確認した。尚、総会后、「府民セミナー(経営委員会担当)」を行い、懇親会は開催しないことも確認された。

3 前年度事業報告と収支決算について

平成18年度の事業報告書は各委員長の活動報告をもとに、事務局長がまとめ次回委員会までに各委員にメールで送信する。決算報告書はすでに回付した内容を討議し一部誤字を訂正した。両報告議案は次回の事業推進委員会で、理事会への議案上程用としてまとめる。

4 新年度事業計画と予算案通過に伴う各委員会活動の件

(1) 技術委員会

三上新委員長より新年度第1回技術委員会は5月8日(火)開催予定につきまだ動いていな

いが、既定の事業計画に添って活動していく旨、抱負表明があった。

(2) 経営委員会

小島委員長より当面5月28日(月)の府民セミナー開催準備を進めることが主要な活動であり、また昨年来模索している高齢者雇用実態についての特別調査実施に向け高齢者雇用支援協会と協議しており5月17日(木)開催予定の第1回経営委員会で詳細をつめる旨、報告がなされた。尚、新年度よりカゴヤジャパン様並びに日本コンピュータファシリティ様が経営委員会に参画される旨、報告された。

(3) 広報委員会

河合委員長より第1回広報委員会は5月11日(金)開催予定であり、副委員長を1名増やし2名体制とし、それぞれ分担された事業分野について責任をもって推進する体制を整えた旨、報告がなされた。

(4) 地域情報化委員会

中川新委員長より産学交流事業としてリクルートにおける大学との連携について新しい取組みを行うため大学コンソーシアム京都との連携など模索していきたいとの抱負表明があった。

(5) 事業推進委員会

駒井委員長より京情協の沿革について長谷川会長より検討依頼があり、今後の新しい課題として取組んでいくことと、また理事会で発足承認のあったシニアクラブについて具体的実施にむけ詳細を詰めていく旨報告された。尚、前技術委員長の山本孝氏を事業推進委員会副委員長に就任いただくことで了承された。

5 ケータイ国際フォーラム参加報告

駒井事業推進委員長より以下の報告資料をもとに説明があった。

<p>平成19年4月11日(社)京都府情報産業協会 御中 (社)京都府情報産業協会 事業推進委員長 駒井一正 第6回ケータイ国際フォーラム中国開催・出張報告の件</p> <p>日 程 : 平成19年3月25日(日)~29日(木)(4泊5日)</p> <p>場 所 : 中国北京</p> <p>会 場 : 海淀展覽館(出展関係)および 北京世紀金源ホテル・コンベンションホール (カンファレンス・フォーラム・セミナー)</p> <p>内 容 : 25日および29日は、関空・北京空港で出入国を含む移動日 にて公式行事設定出来ず。 26日、27日、28日は、別冊の冊子の通り、公式行事参加。</p> <p>【26日】 <u>海淀展覽館にて開会式 および 出展内容視察</u> 開会式: 挨拶 立石義雄・京都商工会議所副会頭(訪問団副団長) 出展ブース視察: 山田知事、立石会長らと共に各ブースの説明を聞く。 (携帯電話中心、日本の企業はオムロン、京セラ、村田製作所、日立、 など39社が出展) (ケータイではないが、村田製作所は自走自転車ロボットを出展し、 注目を集めていた。現地TVニュースでも放映されていた。)</p> <p><u>トップカンファレンス</u> 司会: 北京市海淀区人民政府区長・周 良洛氏 挨拶: 北京市人民政府副市長・吉 林氏 挨拶: 京都府知事・山田啓二氏(訪問団団長) コメンテーター: 中国側6名</p>
---

## フォーラム

司会：北京郵電大学経済管理学院院長・呂 廷杰氏

慶応義塾大学教授・中村伊治哉氏

パネリスト：中国側 4 名、日本側 2 名。

### 中国側主催の歓迎晩餐会出席

(中国の方とテーブルごとに歓談にてコミュニケーションを図る)

#### 【27日】

##### 北京主催セミナー参加

中国側講演者 6 名

日本側講演者 2 名 (京セラ：井上部長、トーセ：斉藤社長)

#### 【28日】

##### 産学連携セミナーに参加「3G革新 応用ディスカッション」

司会：吉田 進・京大教授、

パネリスト：中国側 2 教授：北京郵電大・張平氏、精貨大・王京氏。

日本側 2 社：ドコモ北京・大塚氏、富士通研究所・武田氏。

大学訪問：北京郵電大学 張平 教授の研究室

企業訪問：大唐移動通信設備有限公司

#### 【内容所感】

全体的には過密スケジュールの中で、且つ同時通訳のレシーバーを通してのカンファレンスのため 100% 議論の論点を理解することは難しかったが、概ね判断出来た。内容は、中国と日本両国でそれぞれの開発状況の進み具合が説明された。現在、ケータイの世界は、アナログの 1G、デジタルの 2G、から 3G の段階から更に 3.5G とも言われている。4G で何に使うかのアプリケーションや、今後 4G に向かう為に何が必要なかが論議され、技術的には伝送スピードをもっと早くすることで意見が一致していた。そのために一番必要な技術については何かとの問い掛けには各パネリストはアンテナの問題を挙げていた。この辺りが今回のフォーラムでの一つの結論かもしれない。

中国側ではケータイは日本が先を進んでいるとして日本に学ぶことと、共に研究開発を

したいとしている。(言うまでも無く「ケータイ」とは携帯電話をさすのではなく全てのモバイル端末を指しているもので、6年前に「ケータイ国際フォーラム」がスタートした時に京都府が命名したものである。)

京情協会会員会社でもトーセ社様などゲームソフトの開発をしている企業は中国に現地法人を持つなど有意義であったと思われるが、一般的には、中国企業や北京人民政府役人との接触よりも、訪問団に参加した企業や団体および京都府などと人脈を太くする事で今後の京情協活動に生かしたい。

まずは、ニチコンの吉田執行役員営業本部副本部長、(社)京都工業会の浅井専務理事などと 2 週間後(4月19日)に会合を持つことにした。

以上

## 6 事務局報告

ANIA ちば大会参加者募集の件

和田事務局長よりパンフレット並びに参加申込書を配布し、全会員宛電子メールにて案内を送信することが報告された。

なお、申込締切は5月27日で京情協でまとめて申込み。

長谷川会長案（京情協の沿革整理作業・文章と写真の件）

長谷川会長より駒井委員長に打診があり、事業推進委員会で準備方法など今後継続的に取り組んでいく必要があることが報告された。

シニアクラブの件

理事会で発足については承認されたので、実際に具体的な活動に入っていく方向で検討する。

その他

京都府庁の人事異動について、本協会の関係主要ポストについて改めて報告確認した。

**次回委員会は、**

**日時 平成19年5月9日（水） 午後5時より**

**場所 京都コンピュータ学院京都駅前校新館4階会議室**

以 上